川越市立大東西中学校 学校だより
き ら め き
令和８年８月３１日発行
第６号
川越市立大東西中学校
校長　小川　潤也

学校教育目標　『豊かな心をもち、たくましい生徒 ～ 夢や希望をもつ生徒 ～ 』
○自ら考え、自ら学ぶ生徒　○豊かな心を育む生徒　○心身の健康に努める生徒

一人一人が成長できる２学期へ向けて

校長　小川 潤也

長い夏休みが終わり、今日から２学期が始まります。久しぶりに皆さんの元気な顔を見ることができ、とても嬉しく思います。この夏休みを振り返ってみて、皆さんはどんな時間を過ごしたでしょうか。家族と過ごした時間、友達と過ごした時間、部活動に一生懸命取り組んだ時間など、様々な経験があったことと思います。学校生活ではなかなかできない経験を通して、新しい発見や気付きがあった人もいるのではないでしょうか。何より、約 40 日間の夏休みを、大きな事件や事故なく過ごし、元気に学校へ戻ってきてくれたことは、当たり前のようでいて、決して当たり前のことではありません。これからも、自分の命、そして周りの人の命を大切にする気持ちを忘れずに学校生活を送ってほしいと思います。

今日から始まる２学期でも１学期の始業式でも話をした「なりたい自分」ということを、大切にしてほしいと思います。 皆さんには、それぞれ「こんな人になりたい」「こんなことができるようになりたい」という思いがあるのではないでしょうか。勉強を頑張りたい、部活動で成長したい、友達を大切にできる人になりたい、自分から行動できる人になりたい、困っている人に声を掛けられる人になりたいなど、「なりたい自分」は一人一人違っていいのです。大切なのは、その思いを持ち続け、そこに近づくために、日々の生活の中で小さな努力を積み重ねることです。「なりたい自分」は、ある日突然、誰かが連れてきてくれるものではありません。毎日の小さな選択や行動の積み重ねによって、少しずつつくられていくものです。昨日より少しだけ頑張る、昨日できなかったことにもう一度挑戦する、誰かのために一つ行動する、そんな小さな一歩を大切にしてください。

また2学期は、合唱祭という大きな行事があります。合唱祭は、一人で歌って完成するものではなく、一人一人の歌声が重なり、互いの声を聴き、気持ちを合わせることで、一つの素晴らしい合唱が生まれます。練習を始めたばかりの頃は、なかなか声がそろわなかったり、音程が合わなかったり、思うように練習が進まなかったりすることもあるでしょう。また、練習への思いに違いが生まれたり、意見がぶつかったりすることもあるかもしれません。しかし、そうした場面こそ、クラスが一つに成長していくための大切な時間です。「もっと大きな声で歌おう」「もう少しここをそろえよう」「みんなで頑張ろう」と声を掛け合いながら、一人一人が自分にできることを

考えて行動してください。誰かが頑張るのを待つのではなく、自分からクラスのために一歩踏み出すことが、仲間の心を動かし、クラス全体の力につながっていきます。

2学期は、学校生活の中でも大きく成長できる時期です。様々な活動を通して、仲間と協力する力、自分から行動する力、最後までやり抜く力を身に付けてほしいと思います。うまくいかないことがあっても、失敗することがあっても、それで終わりではありません。そこから何を学び、次にどうするかが大切です。自分自身の可能性を決めつけることなく、何事にも前向きに挑戦してください。先生たちは、皆さんの「なりたい自分」に近づくための努力を、いつも応援しています。友達同士でも互いに励まし合い、支え合いながら、一人一人が成長できる2学期にしていきましょう。